

「第9回ABE」開催へ始動

神奈川の単組設立を再開

7月上旬には、関東ブロック(山崎登美子ブロック長)会議が7月8日(月)午後3時より開催。

由緒ある温泉宿で有意義な交流が図られた。



山崎登美子ブロック長が開会のあいさつ。



単組理事長を退任した会員に感謝状を贈呈。

関東ブロック会議は、東京都ビューティサプライ協同組合(山崎登美子理事長)の開催担当で、静岡県熱海市の熱海大観荘が会場となった。出席は東京都12人をはじめ、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉各県より理事長および副理事長など計18人が出席。全美商連の来賓として蒲生茂理事長(東京都副理事長)も会場入りした。

冒頭、山崎ブロック長が歓迎のあいさつを述べた後、功労者表彰は、茨城県前理事長の江端信行氏の代理として大島和彦現理事長が蒲生全国理事長より感謝状が手渡された。なお、栃木県前理事長の根津英雄氏へは、配送された。引き続き蒲生理事長が全美商連報告に立ち、自身の理事長就任の経緯を説明した他、2022年に「第9回アジアビューティエキスポ」を開催する意向で、会場として前回同様、神奈川県横浜市の

新体制スタートで全力投球

京都と和歌山も会議に出席

全美商連近畿ブロック(小西隆雄ブロック長)は、6月1日(日)午後2時より、

兵庫県神戸市の有馬兵衛向陽閣において、

2019年度近畿ブロック総会を開催した。



1. 就任の報告をする蒲生茂全国理事長。
2. 小西近畿ブロック長のあいさつ。
3. 総会後に行なわれた中嶋政雄税理士による特別講演。

会議は担当県の谷義彦兵庫県理事長の司会で進行。まず、来賓として招かれた蒲生茂全美商連理事長、須山裕二相談役、高橋正俊事務局長が紹介され、次いで、小西隆雄全美商連近畿ブロック長が「昨年、近畿ブロックとして新規事業を実施した年末年始ポスター企画が皆さまのお陰で好評だった」と感謝の言葉を述べ、「本日は皆さまとの意見交換を積極的に図り、有意義な一日にしたい」とあいさつ。続いて蒲生茂理事長が、5月16日の全美商連総会で新理事長に選ばれ就任したことを報告、議事に移行した。大阪の橋本健治事業委員長が議長に選出され、議事を進行。全美商連本部報告では蒲生理事長より、改選での新しい執行部の紹介、現在の会員数、財務、事業などが報告された。特に次回「第9

回アジアビューティエキスポ」について、「2022年に開催する方向で、来年の5月には実行委員会を立ち上げる。実行委員長には大阪の橋本健治全国副理事長にお願いしたところ、快く引き受けていただいた。次の世代に繋げるために、理事長の任期である2年間で誠心誠意全うする所存である」と所信を述べた。この後、近畿ブロックの平成30年度事業報告、会計報告がなされ、いずれも全会一致で承認された。役員任期満了については、執行部推薦により小西理事長の再任が承認された。さらに各単組報告が行なわれ、滋賀県、大阪府、兵庫県の各事業報告がなされた後、京都府と和歌山県がこの3月末に全美商連本部に退会届けを提出していたが、会議には両県の役員が出席した。



New Leaders

全国美容用品商業協同組合連合会

理事長

蒲生 茂



次の世代にバトンを渡す つなぎ役を全うしたい

美容ディーラーの全国組織である全美商連の理事長に、美容流通の最大手である(株)ガモウの蒲生 茂会長が就任。

これからの課題と取り組みを聞いた。

2019年度 全美商連 中部ブロック会議

「ビューティユニティフェスティバル」

実施に向け活発な意見交流

翌7月9日(火)は、中部ブロック(松下智美ブロック長)会議が、愛知県名古屋市の滝川(株)名古屋営業所で開催。蒲生全国理事長も熱海から直行した。



1. ビューティユニティフェスティバルの改善点を討議。
2. 司会進行の松下智美ブロック長。
3. 感謝状を受けた沖林行彦三重県前理事長(写真左)と蒲生 茂全美商連理事長。

午後4時よりの開始となった中部ブロック会議は、静岡県1人、三重県、愛知県の各3人に加え、全美商連より蒲生 茂理事長および高橋正俊事務局長の出席のもとで行なわれた。

会議は開催担当である静岡県の松下理事長が議長を務め進行。まずは各県単組の活動報告が行なわれた。いずれも全美商連事業である「ビューティユニティフェスティバル」の他、ゴルフコンペの主催、エントランスバス旅行などが主な事業活動となっている、との現状を伝えた。

続いて、蒲生全国理事長が就任のあいさつを兼ねて全美商連における活動状況を報告。次の世代への橋渡し役として、1期2年間の任期を全うしたいとの意志を表明した。続けて、関東ブロックでの報告と同様、前回から4年

置いた2022年に「第9回アジアビューティエキスポ」を開催する決議がなされたことを報告。事業担当の橋本健治副理事長(大阪)に実行委員長を委ね、準備を進めていくとの考えを伝えた。また、組織の運営予算確保を目的とした事業収入の軸として「ビューティユニティフェスティバル」や自動車購入サポートを挙げたところで、ブロック会員サイドから「ビューティユニティフェスティバル」実施の概要が分かりにくいなどの意見が多々持ち上がる場面もあり、蒲生全国理事長は「内容の見直しを含め、7月29日に臨時執行部会を開き、改善点などを討議する」とその場で回答した。引き続き、同事業に関する意見交換が活発に行なわれ、いくつかの改善点も示されるなど、会議は大いに白熱した。



がもう・しげる
1960年、創業者の急逝により、(株)ガモウの前身である「蒲生清二郎商店」の社長に就任。1976年に法人化し、(株)ガモウを設立。美容ディーラーとして全国に事業展開を行なう。
全国美容用品商業協同組合連合会理事長、ジャパン・ヘアドレッシング・アワーズ・アソシエーション代表理事、(株)ガモウ代表取締役会長。

残しているケースもありますので、理解を求め、参加いただけるよう働きかけていく所存です。また、組織の内側と同時に、業界他団体との交流も深めていきたいとも考えています。例えば全美連が来年、世界大会の日本開催を控えています、何かお手伝いをするのではないかと連携することによって、美容業界における全美商連の役割が明確になっていきます。

「第9回アジアビューティエキスポ」の開催は？
蒲生 既に協議を重ねています。2022年に開催する方向で来年早々には実行委員会を組織する予定です。会場は前回同様、パシフィコ横浜を仮押さえした、という段階です。
「ビューティユニティフェスティバル」も継続ですか。
蒲生 「第8回アジアビューティエキスポ」での余剰金を今年度予算として計上できましたが、臨時的利益ですので、予算

基盤を確立するための重要な事業として継続していく必要があります。ただし、とにかく継続ありきではなく、会員に受け入れられやすい形をつくっていかなければモチベーションを維持できませんので、そのための議論が大切だと思います。
就任時、1期のみと強調されていますか。
蒲生 任期の2年を終えたときには80歳に達していますから、体力的にも難しいと思いますし、申しました通り、次世代へのつなぎ役として、この2年間でしっかりとした基盤を改めて構築したいと考えています。そしてバトンを渡したらそれで終わりということではなく、可能な限りサポートしていくつもりです。
本日はありがとうございました。

全美商連7代目の全美商連理事長になるんですね。

蒲生 茂理事長(以降、蒲生)7代目というのは、協同組合の連合会として設立した際の最初の理事長である大塚正男さんから数えた数字ですね。ディーラーの連合会組織としての設立から数えると18代目になります。これまでの貢献度から、もっと早い就任もあり得たのではない

思いもありました。ただ、これまで執行部を経験した人、逆にこれから全美商連の組織を任せたい人との世代が大きく開いていますので、長く携わってきた身としては、次世代にスムーズにつなげられるような道をつくるのが責務ではないか

と思います、引き受けることにしました。
組合という組織自体、存続の難

(増保憲一元全国理事長の実父)に入会のお声掛けをいただき、前出の大塚さん、山崎泰延さん(山崎登美子東京理事長の夫君)が全国理事長のときに副理事長を務めるなど、各社先代の社長とのお付き合いの中で、同業者の組合活動に対する思いに

触れ、その存在意義を学ばせていただきました。今、それからさらに今は、3代目、4代目へと引き継がれていますから、私からも伝えられることはあると思います。
理事・執行部(副理事長)のメンバー構成はいかでしょう。
蒲生 やはりお受けいただきたい方には、何かしら意見を出して、全美商連をどうしていくか、一緒に考えていきたいと思っています。その意味で、頼もしいメンバーが揃いました。また、前理事長の須山さんは、相談役という形で理事会にも参加してい

組織存続の基盤づくりに 1期2年を全力投球

かと思うのですが。

蒲生 自分自身ととしては、もう(就任は)ないだろうと考えていましたし、須山裕二前理事長でだいぶ若返りましたので、その流れを戻したくはないという

しい時代になっています。

蒲生 時代の流れ、それに伴う環境の変化から、そのあり方を示す難しさが増えているのは確かです。だからこそ逃げられないと言いますが、増保利男さん

ただですが、さらに定款では顧問を立てることも可能で、理事長経験のある増保憲一、石井紘一歴代理事長の協力も得て、体制を強化してまいります。
会員増強が当面の目標となりますか。
蒲生 それはもちろんあります。現在は神奈川県単組設立を進めている他、全美商連に加盟していない県で、組合の形を

